

Title	ベトナムにおける高等教育質保証システムの現状 : ASEANにおける高等教育質保証のグローバル化を視野に入れて
Author(s)	島本, 英樹; 堀井, 祐介; 工藤, 潤 他
Citation	大阪大学高等教育研究. 2020, 8, p. 21-32
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75497
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ベトナムにおける高等教育質保証システムの現状

— ASEANにおける高等教育質保証のグローバル化を視野に入れて —

島本 英樹^{*1}・堀井 祐介^{*2}・工藤 潤^{*3}・原 和世^{*3}・早田 幸政^{*4}

A Field Research Report on Higher Education Quality Assurance Systems in Vietnam: With a View to Globalizing Higher Education Quality Assurance in ASEAN Countries

SHIMAMOTO Hideki^{*1}, HORII Yusuke^{*2}, KUDO Jun^{*3}, HARA Kazuyo^{*3}, HAYATA Yukimasa^{*4}

ASEANの一員であるベトナムは、近年、著しい経済成長の伸びを示し、高等教育の規模も急速に拡大しつつある。さらに、ASEAN地域での資格参照枠組を踏まえ国家資格枠組みを制定しており注目されている。本稿は、ベトナムの国家資格枠組みについて紹介するとともに、同国の高等教育関係機関であるベトナム国家大学ホーチミン校高等教育評価センターおよびフルブライト大学ベトナム公共政策大学院を対象に、2019年9月に実施した実地調査の概要を報告することが目的である。2機関の調査の結果、ベトナムの高等教育における社会主義国家としての特質もうかがい知れたが、一方で、ASEAN地域での学位の等価性、学生・研究者や高度職業人材の国境を越えた円滑な移動を促進するための高等教育質保証システムの充実・醸成を目指していることも強く認識できた。国境を越えた大学評価システム改革において、ASEAN地域は我が国の取り組みより進んでいるともいえ、今後、我が国が大学教育の国際化を進めるためにもASEAN地域のグローバルな視点を取り入れた高等教育質保証システムの取り組みを学び、発展させることが今後より必要になっていくものと思われる。

キーワード：ベトナム、ASEAN諸国、高等教育、質保証システム、グローバリゼーション

Vietnam, a major member of ASEAN, has a remarkable economic growth, and the scope of higher education in Vietnam has also increased significantly. To examine the latest trend in the development of higher education quality assurance systems in the ASEAN countries, we visited the Center for Education Accreditation, Vietnam National University Ho Chi Minh City and the Fulbright School of Public Policy and Management, Fulbright University Vietnam. The aims of this research visit are to understand how the ASEAN countries promote educational exchanges in higher education, and to investigate the real pictures and innovativeness of the higher education accreditation system including the institutional evaluation and the educational program evaluation in Vietnam. In recent years, the number of foreign students from Vietnam to Japan has been increasing, and the relationship between the two countries is growing both economically and socially. This study suggests that we must focus more on the higher education systems in ASEAN countries to meet the global standards.

Keywords : Vietnam, ASEAN, higher education, quality assurance system, globalization

所 属 :^{*1}大阪大学全学教育推進機構 ^{*2}金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系 ^{*3}大学基準協会 ^{*4}中央大学理工学部

Affiliation :^{*1}Center for Education in Liberal Arts and Sciences, Osaka University, ^{*2}Institute of Liberal Arts and Science, Kanazawa University, ^{*3}Japan University Accreditation Association, ^{*4}Faculty of Science and Engineering, Chuo University

連絡先 : shimamoto@celas.osaka-u.ac.jp (島本 英樹)

1. はじめに

経済成長著しいASEANではこれを構成する国々のあらゆる分野・領域で、有為に活躍できる高度人材の育成に向け、国別の高等教育を対象とする第三者評価の仕組みがアウトカム評価重視の方向で整備されつつある。併せ、ASEAN域内での学生移動に伴う学位・単位の互換性の確保に向け、各国の質保証の効果を共有し合うための横断的取組が進められている。その仕組みの形成に当り、学位等の取得に必要な知識・能力の一覧として国別に設定された「資格枠組み (Qualifications Framework)」を基に、ASEAN共通の参照資格枠組み (ASEAN Qualification Reference Framework) が整えられつつある⁽¹⁾。この流れの中、比較的最近に、国家レベルでの機関別およびプログラム別認証評価制度を導入 (2012年) するとともに、国家資格枠組み (National Qualification Framework)」を制定 (2016年) したベトナムは、ASEANにおける高等教育国際化の流れにおいて非常に注目に値すると考え、本調査研究の対象とした。

ここでベトナムの高等教育を取り巻く状況を瞥見すると、まず同国の経済発展の状況として、過去5年の平均実質GDP成長率は約6.6%、海外からの直接投資額も6年連続で最高水準を更新するなど、著しい成長を遂げている。こうした経済の伸びに呼応して、同国の高等教育の規模も大きく拡大しつつある。

ところで同国の高等教育は、社会における公共領域や経済分野などの人材需要との連結の度合いが他国のそれに比して強固であることや、教育の根幹において社会主

義思想の周知徹底の理念が貫かれるなど、一党支配による社会主義国家としての特質も見られる。もとよりその一方で、ASEANの有力構成国として、他のASEAN諸国の学位との等価性を図り、学生・研究者や高度職業人材の国境を越えた円滑な移動を促進するための高等教育質保証システムの充実・高度化に向けた営みもグローバルな展開の様相を呈しつつある。

本稿では、ベトナム高等教育を取り巻くそうした状況認識を基本に据え、ベトナム国家資格枠組み (Vietnamese Qualifications Framework: VQF) について簡単に紹介するとともに、2019年9月に実施した同国の高等教育関係機関への実地調査の結果報告を通して、その現状と発展の方向性を垣間見ることが目的としている。

2. ベトナム国家資格枠組み Vietnamese Qualifications Framework (VQF)

2014年に制定されたASEAN地域の資格参照枠組み (ASEAN Qualifications Reference Framework: AQRf) を踏まえ、ベトナムにおいても、2016年内の資格枠組みの策定を目指し作業が進められ、2016年10月には、ベトナム国家資格枠組み (Vietnamese Qualifications Framework: VQF) (以下、VQFという。) に関する首相決定が通達され、枠組みの目的、対象範囲、構造、導入に当たり関係する省庁の役割などが示された。VQFでは、ベトナムにおける資格・学位を8つのレベルに区分し、各レベルにおける学習成果の水準や最低学習量が示されている⁽²⁾。

表1 VQF 記述

レベル	学習成果 コース修了要件			最低学習負担 (単位数)	資格の種類
	知識・理解	技能	自律性・責任		
1	<ul style="list-style-type: none"> 特定の職業の一定程度の活動に関して狭い範囲の事実的および基礎的な知識を有している 自然、文化、社会に関する基礎的知識、および、生活に関わる法律、将来の職業につながる発展的学習と準備に対する基礎的知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な、または、手作業を直接行う基本的な技能を有している 既知の分野における基本的なコミュニケーション技能を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の支援を受けていくつかの簡単な反復作業を行う 厳格な監督と指導の下、作業を行う 指導者の支援を受けて自己評価と作業に対する評価を行う 	5 credits	Certificate I
2	<ul style="list-style-type: none"> 特定の職業の一定程度の活動に関して狭い範囲の事実的および理論的な知識を有している 自然、文化、社会、および、生活に関わる法律、職業、発展的学習に関する一般的な知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> その必要性を認識するとともに必要な技能を認識し、適切な手法、道具、材料、入手可能な情報を活用する 自らの仕事を達成したり報告したりするのに必要なコミュニケーション能力を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 既知の分野において、規則性と限られた自律性をもっていくつかの仕事を行う 指導者の指導の下、未知の分野の仕事を行う 自らの仕事に対する自己評価を行う能力を有している 	15 credits	Certificate II

ベトナムにおける高等教育質保証システムの現状

3	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練の範囲内における一般原則, 作業過程, 概念に対する事実的および理論的知識を有している 自然, 文化, 社会, および, 生活に関わる法律, 職業, 発展的学習に関する一般的な知識を有している 特定の職業に関する情報技術の基礎的知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 自立して仕事を行うこと, または, 課題を解決することに関しての必要性を認識するとともに必要な技能を有している 職場において, 効果的に, 求められる専門用語を使いこなす技能を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した状況および既知の分野において自立して仕事を行う 明白な基準に従い課題および自己評価を行う 他者と協働し, 仕事に対する責任を引き受ける 	25 credits	Certificate III
4	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練の範囲内における幅広い事実的および理論的知識を有している 政治, 文化, 社会, および, 当該職業における専門的社会的要件に対応する法律に関する基礎的知識を有している 仕事の要件に対応する情報技術に関する知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な手法, 道具, 材料, 情報を取捨選択し活用することで仕事を行うこと, または, 課題を解決することに関しての必要性を認識するとともに専門的スキルを必要とする議論に関与したり, 代替案を適用したり, 仕事および作業チーム構成員の仕事ぶりの質を評価したりするなど, 職場において, 効果的に, 研究分野における専門用語を使いこなす技能を有している ベトナムにおける外国語運用能力枠組みの1/6レベルの外国語運用能力を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 変化する文脈に即して自立して仕事を行い, 責任を引き受け, 作業チームでの協働における責任の一部を引き受ける 他者の通常業務に対する指導, 監督を行う 作業チームの仕事ぶりを評価する 	35 credits, for people with the certificates of completion of upper- secondary education, or 50 credits, for people with the certificates of completion of lower- secondary education	Associate degree
5	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練についての総合的な事実および理論的知識を有している 政治, 文化, 社会, および, 当該職業における専門的社会的要件に対応する法律に関する基礎的知識を有している 仕事の要件に対応する情報技術に関する知識を有している 職業訓練の範囲内で, 仕事の企画, 実施, 監督, 評価の管理運営, 原則, 手法についての事実的知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い情報に関して決定, 分析, 評価する必要性を認識するとともにそれらを行う創造力を有している 職業訓練の範囲内で, 抽象的な課題解決に求められる実践的な技能を有している 職場において, 情報, 考え方, 解決策を他者と共有するために必要な技能を有している ベトナムにおける外国語運用能力枠組みの2/6レベルの外国語運用能力を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 変化する文脈に即して, 作業チームにおいて自立して活動し, 業務や複雑な課題を解決する 他者に対して明白な業務実践を指導し, その働きぶりを監督し, 個人としての, また, チームとしての責任を引き受ける 作業チームの構成員の作業結果および働きぶりを評価する 	60 credits	College degree
6	<ul style="list-style-type: none"> 研究分野における発展的, 理論的, および, 事実的知識を有している 社会科学, 政治科学, 法律関係の基礎的知識を有している 仕事の要件に対応する情報技術に関する知識を有している 特定の研究分野における企画, 組織化, 監督過程の知識を有している 専門的活動の管理運営, 規制に関する基礎的知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な課題を解決するのに必要な技能を有している 指導者としての資質および自らまたは他者に対する作業を作り出す技能を有している 議論する能力, 批判する能力, 予測できないまたは変化する文脈に即して代替案を適用する能力を有している 作業チームにおける構成員の作業結果と働きぶりを評価出来る技能を有している 職場において, 他者と課題および解決策についての情報を共有し, 明白な, または, 複雑な業務についての働きぶりにおける知識と技能を共有し広める能力を有している ベトナムにおける外国語運用能力枠組みの3/6レベルの外国語運用能力を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 変化する文脈に即して作業チーム内で自立して仕事を行い, 責任を引き受け, 作業チームでの協働における責任の一部を引き受ける 他者の通常業務に対する指導, 監督を行う 自ら方向付けを行い, 専門性を備えた結論を生み出し, 自らの観点を守る能力を有する 計画を立案し, 資源を管理運営し, 評価を行い, 業務効率を改善するための解決策を見つけ出す 	120 - 180 credits	Undergraduate degree
7	<ul style="list-style-type: none"> 発展的および専門的知識を有するとともに研究分野における原則および理論を完全に把握している 学際的な研究分野における関連知識を有している 管理運営に関する一般的な知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な方法で課題解決するためのデータおよび情報に対する分析, 統合, 評価を含む発展的専門的スキルを有している 他者と研究に基づく知識を共有し, 専門的および科学的問題について議論する技能を有している 発展的職業的活動を組織し管理運営する技能を有している 研究活動において技術を創造的に発展させ適用する技能を有している ベトナムにおける外国語運用能力枠組みの4/6レベルの外国語運用能力を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 研究を遂行し, 本質的な考え方を生み出す 文脈に即し, 自ら方向付けを行い, 指導する技能 研究活動において専門性を備えた結論を生み出す 専門的活動を管理し, 評価し, 発展させる 	30 - 60 credits	Master's degree
8	<ul style="list-style-type: none"> 科学に関する職業分野または研究分野において最先端かつ集中的な知識を有している 職業訓練に関する本質的および基礎的知識を有している 新しい技術に関する科学研究および発展を組織する知識を有している 管理運営および組織化に関する知識を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 研究推進および発展に関する科学的理論, 手法, 道具を修得する技能を有している 専門知識を集約し拡張する技能を有する 科学的問題を論理的に考え分析するとともに創造的かつ独創的な解決策を生み出す技能を有している 研究開発に関する管理運営および専門的方向付けを行う技能を有している 研究分野に関して国内外での議論に参加し, 研究成果を普及させる技能を有している 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい知識を研究し生み出す 様々な複雑な状況下で新しい考え方および知識を生み出す 自らの方向付けを適用し実践するとともに他者への指導を準備する 専門的な解決策を提供するとともに決定を下す 研究を管理し, 専門的知識を発展させ, 新しい考え方, 過程を体験し生み出すため, 高い責任感を有する 	90 - 120 credits	Doctor's degree

3. 実地調査の概要

冒頭に示した課題認識を基に、今回の実地調査は、ホーチミン市に本拠を置き、高等教育機関のアクレディテーションを行っている「ベトナム国家大学ホーチミン校高等教育評価センター（Centre for Education Accreditation, Vietnam National University Ho Chi Minh City）（以下、「VNU-HCM CEA」という。）及び同じく同市に設置されている「フルブライト大学ベトナム公共政策大学院（The Fulbright School of Public and Management, Fulbright University Vietnam）」を対象にこれを行った。VNU-HCM CEAは、後でも述べるが、2012年の高等教育法制定を受けて初めて設立された認証評価機関の一つであり、設立後30大学に対する機関別認証評価、15のプログラム別認証評価を実施しており、その実績を考慮して訪問調査対象とした。フルブライト大学ベトナム公共政策大学院は、ベトナムにおける高度技能人材育成の質保証について、米国の全米公共政策大学・大学院協会（National Association of Public Affairs and Administration）（以下、「NASPAA」という。）のアクレディテーションを受けている。ASEAN諸国においては、高度技能人材育成に関わる教育プログラムについて、中国などと同様に自国のシステムではなく、NASPAAなどの欧米の専門職団体のアクレディテーションを受けている機関がいくつか存在する。今後、分野によっては日本においても同様の事例が出てくることも考えられることから、同大学院を今回の調査対象とした。

これら2機関に対しては、予め準備し提示した調査項目に即して、関係者から聞き取り調査を行い、その回答とそれらに関わる質疑応答等を踏まえたものとして、本稿を作成した。上記2機関に提示した調査項目は、それぞれ以下の通りである。

VUN-HCM CEA：

当該機関の設置形態、アクレディテーションの実施組織と実施手続の概要

- アクレディテーションにおける大学の「内部質保証」の位置づけ
- 「ラーニング・アウトカム」を軸としたアクレディテーションの手法
- ASEAN協働の高等教育質保証システムへの当該機関の関与の状況
- 将来における当該機関と大学基準協会（JUAA）との連携・協力の可能性、など

フルブライト大学ベトナム公共政策大学院：

- 当該学位プログラムの高度公共人材に係る教育目標とカリキュラムへの反映状況
- 学生の種類（社会人学生や留学生の割合などを含む）と進路（就職等）の状況
- 当該学位プログラムの内部質保証システムの概要
- 「ラーニング・アウトカム」のアセスメント・システムに関わる当該学位プログラムの構築・運用の状況
- NASPAAのアクレディテーションへの当該学位プログラムの対応と適格認定の状況並びにベトナム国内の大学外部質保証機関との関係性、など

VNU-HCM CEAおよびフルブライト大学ベトナム公共政策大学院に対する訪問調査の実施概要は以下の通りである。

①VNU-HCM CEA

[訪問日時]

2019年9月17日（火）14:00-16:30

[訪問場所]

ベトナム国家大学ホーチミン校 高等教育評価センター（VNU-HCM CEA）

Quan Thu Du,Linh Trung Ward,Quarter 6, Software Technology Park, Ho Chi Minh City, Vietnam

[対応者]

Associate Professor Le Ngoc Quynh Lam, Acting Director, VNU-HCM CEA

他、約10名

[訪問者]

早田 幸政（中央大学理工学部 教授）

島本 英樹（大阪大学全学教育推進機構 准教授）

堀井 祐介（金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系 教授）

工藤 潤（大学基準協会 事務局長）

原 和世（大学基準協会 評価研究部国際企画室室長）

②フルブライト大学ベトナム公共政策大学院

[訪問日時]

2019年9月18日（水）9：00-10：30

[訪問場所]

The Fulbright School of Public Policy and Management, Fulbright University Vietnam 105 Ton Dat Tien St., District 7, Ho Chi Minh City, Vietnam

[対応者]

Professor Pham Duy Nghia, MPP Director
Ms. Tran Thi Ngoc Tran, Academic Affairs Manager (NASPAA 認定担当)

[訪問者]

早田 幸政 (中央大学理工学部 教授)
高本 英樹 (大阪大学全学教育推進機構 准教授)
工藤 潤 (大学基準協会 事務局長)
原 和世 (大学基準協会 評価研究部国際企画室 室長)
堀井 祐介 (金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援系 教授)

4. ベトナム国家大学ホーチミン校高等教育評価センター (VNU-HCM CEA) の訪問調査報告

4.1 ベトナムの高等教育の質保証システムの構築

ベトナムでは、1986年のドイモイ政策の導入以降、計画経済から市場経済に移行する過程で、ベトナム社会の発展に有為な人材養成が求められるようになり、それに伴い高等教育の規模の拡大、教育機関の多様化、学生数の増加が進んでいった。こうした高等教育を取り巻く環境が変化する中で、高等教育の質保証も大きな課題となっていた。

2002年、ベトナム政府は、教育訓練省高等教育局内に評価部門 (MOET) を設置し、高等教育機関に対するアクレディテーションの実施に向けた体制を整備した。翌2003年には、同省に教育試験・アクレディテーション局 (以下、「GDETA」という。) を設置した。

さらに、政府は、2012年に高等教育法を制定し、すべての高等教育機関に対して質保証部門の設置と、第三者評価機関による定期的な認証評価 (機関別とプログラ

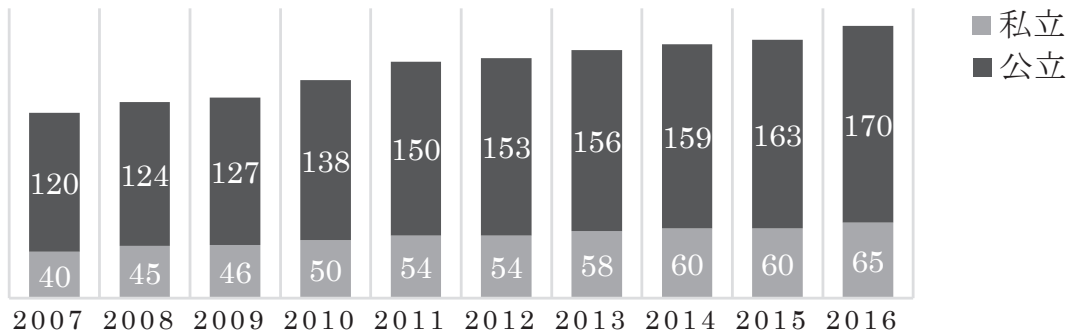


図1 ベトナムの大学数推移

※ VNU-HCM CEA 提供資料 (「SEMINAR : Quality Assurance and Accreditation in VIET NAM and JAPAN」 (パワーポイント 資料)) を基に作成

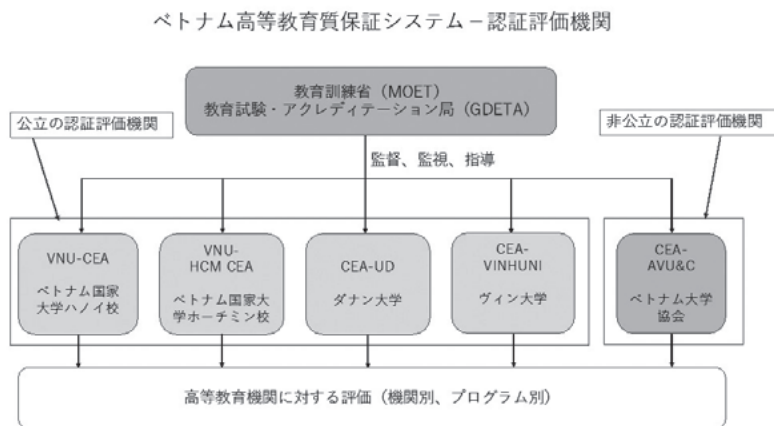


図2 ベトナム高等教育質保証システム - 認証評価機関

※ VNU-CEA 提供資料 (「CASE STUDY VIETNAM HIGHER EDUCATION QUALITY ASSURANCE」 (パワーポイント資料)) を基に作成

ム別の2種類の評価)の受審を義務付けた。

2013年には、認証評価を実施する機関として、ベトナム国家大学ハノイ校高等教育評価センター(VNU-CEA)とベトナム国家大学ホーチミン校高等教育評価センター(VNU-HCM CEA)が設置された。その後も評価機関が設置され、2019年9月時点で、5つの評価機関が設置されている。こうした複数の評価機関が設置されたことにより、認証評価に係る直接的活動は分散されて行われるようになった。一方、政府は、高等教育機関と評価機関に対する監督、監視、指導を行う役割を担うこととなった。なお、認証評価に関する基準、手続及び関連する方針は、GDETAが作成し、この基準、手続等にしたがって5評価機関は認証評価を実施している。

4.2 認証評価の周期

認証評価の周期は、機関別及びプログラム別ともに、5年としている。

4.3 認証評価実績

2019年9月時点で、自己評価を実施し報告書を取りまとめた大学は218大学で、全大学の92%となっている⁽³⁾。

そのうち、教育訓練省の認証を受けた5評価機関の認証評価(機関別)を受けた大学数は140大学で、認定された大学は129大学であった。また、プログラム別認証評価を受けたプログラム数は139で、認定されたプログラムは19であった⁽⁴⁾。

4.4 VNU-HCM CEAの評価システム

4.4.1 VNU-HCM CEAの使命・ビジョン、目的

VNU-HCM CEAの使命は、以下の通りである。

- 高等教育機関とプログラムを認定し、ベトナム国家発展のための要件の1つである教育の質の向上を図るためにフォローアップの活動を行うこと。
- 認証評価を通じて、ベトナム高等教育の質を保証し、有効性・効率性を高め、公平性そして創造性を確保することを目指して、海外の諸機関から認められる専門的な認証評価機関になること。

また、こうした使命・ビジョンを実現するための目的として、以下の点を掲げている。

- 認証評価活動と質向上に係るコンサルタントの業務の質を確保する。
- 社会に対して教育の質に関する情報を提供する。
- 質保証や認証評価に関して、卓越した組織となる。
- 国内外の質保証や認証評価のネットワークや関係

機関に積極的に参加する。

4.4.2 認証評価基準

認証評価基準は、機関別認証評価基準とプログラム別認証評価基準に分けられている。機関別認証評価基準は、2017年に改定され、4カテゴリ(戦略的質保証、質保証のシステム化、質保証の機能化、成果)、25基準、111項目で構成されている。また、プログラム別認証評価基準は、2016年に設定され、11基準、50項目で構成されている。

特に、機関別認証評価基準のカテゴリ2の「質保証のシステム化」においては内部質保証に関する基準が設定されており、「基準9 内部質保証システム」では、高等教育機関の戦略目標の達成と質保証の実現を図るために、内部質保証に関するシステム、役割、責任及び説明責任を確立すること、内部質保証を担う部局は、教育・研究・サービス等の質の向上を図るために、大学全体の中で指導的役割を果たすこと、高等教育機関の質保証の活動を測定するためにKPIや戦略目標を設定すること、KPIの達成状況は、改善を促進させるために適時にステークホルダーに公表される必要があること、等が定められている。

また、「基準10 内部質保証及び外部質保証における評価」では、評価は、訓練を受けた独立したスタッフまたは専門家によって定期的に行われる必要があること、評価の独立性が確保され、客観的証拠に基づいて行われることを担保するために、内部評価者とその評価者の担当評価領域を決定する基準を設定すること、内部及び外部の評価結果を検証し、質保証システム自体の強みと弱みを明らかにし分析すること、内部及び外部の評価プロセスの改善に取り組み、当該高等教育機関の戦略目標の充足を目指すこと、等が定められている。

「基準11 内部質保証にかかる情報管理」では、データ分析を含む内部質保証に関する種々の情報は、関連性があり、正確で、なおかつステークホルダーの意思決定に資するものであること、その一方で、こうした情報が完全性、機密性、セキュリティを保証するものであること、また、当該高等教育機関、受賞、プログラムと授業科目、達成度、質保証等に関する情報は、正確で関連性があり、最新で、なおかつステークホルダーがすぐに利用できるものであること、等が定められている。

さらに、「基準12 質の向上」では、内部質保証に関する方針、手続、関係する資源等を網羅した当該機関全体の質の向上を継続的に実施する計画を確立し、教育・

研究・サービスにおけるベストプラクティスを見出すこと、当該高等教育機関によって特定された教育・研究・サービスに関する成果向上に向けて、質保証プロセスを強化しイノベーションを促進するための比較評価（ベンチマーク）が活用されること、等が定められている。

こうした内部質保証に関する基準に加えて、カテゴリ4の「成果」においては、「教育成果」「研究成果」「サービスの成果」「財務と市場の成果」の4基準を設けているが、特に、「基準22 教育の成果」では、以下のように項目を設定している。

- すべての学習プログラムと授業科目の改善のために、合格率と中退率の調査を行い、モニタリング及び比較評価を行うこと。
- すべての学習プログラムの改善のために、平均修了時間の調査を行い、モニタリング及び比較評価を行うこと。
- すべての学習プログラムの改善のために、卒業時のエンプロイアビリティを設定し、モニタリング及び比較評価を行うこと。
- 卒業生の質に対してステークホルダーの満足度の

調査を行い、改善のためのモニタリング及び比較評価を行うこと。

機関別認証評価及びプログラム別認証評価の基準の構造図を示すと以下の通りである。

4.4.3 認証評価プロセス

認証評価プロセスの概要を示すと、大学の自己評価→自己評価報告書の検証→実地調査→評価結果の作成→認証評価基準への適合判定 となっている。

機関別認証評価では、評価項目（111項目）ごと、基準（25基準）ごと、カテゴリ（4カテゴリ）ごとに7段階（1～7）評価し、適合認定を得るためには、各基準において2以上、各カテゴリにおいて3.5以上の評価が必要とされている。また、プログラム別認証評価では、機関別認証評価と同様、評価項目（50項目）ごとに7段階（1～7）評価し、適合認定を得るためには、50項目中、4以上の評価が付された項目が80%以上必要とされている。機関別認証評価プロセスのフローを示すと以下の通りである。

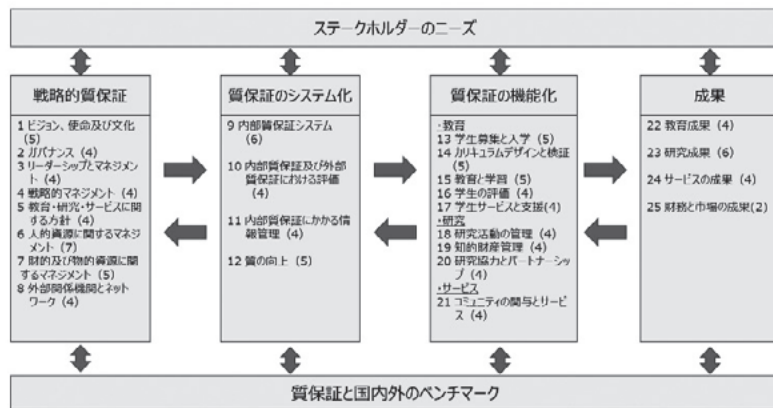


図3 機関別認証評価基準の構造

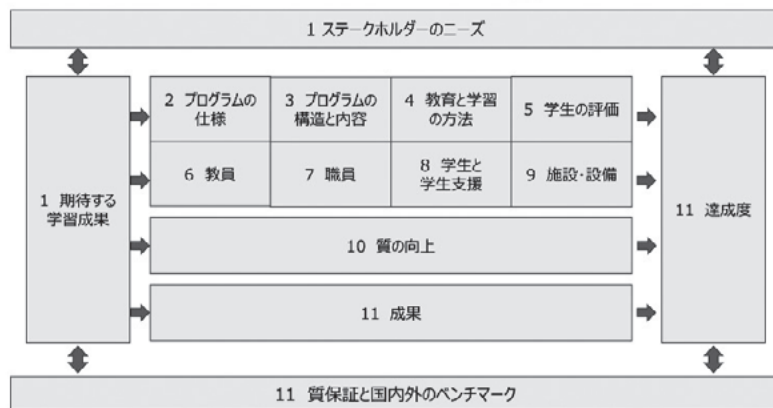


図4 プログラム別認証評価基準の構造

※ VNU-HCM CEA 提供資料（「SEMINAR : Quality Assurance and Accreditation in VIET NAM and JAPAN」（パワーポイント資料））を基に作成

4.4.4 VNU-HCM CEAの評価実績

2019年9月現在、VNU-HCM CEAの機関別認証評価を受けた大学は30大学で、そのうち適合認定を受けた大学は25大学である。また、プログラム別認証評価を受けたプログラムは15で、そのうち適合認定を受けたのは5プログラムである。

適合判定は、適合・不適合のいずれかが示されることになるが、不適合と判定された場合、1年以内に評価を受け直さなければならない。また、その1年間は、新学部の設置が認められない。

4.4.5 評価者研修

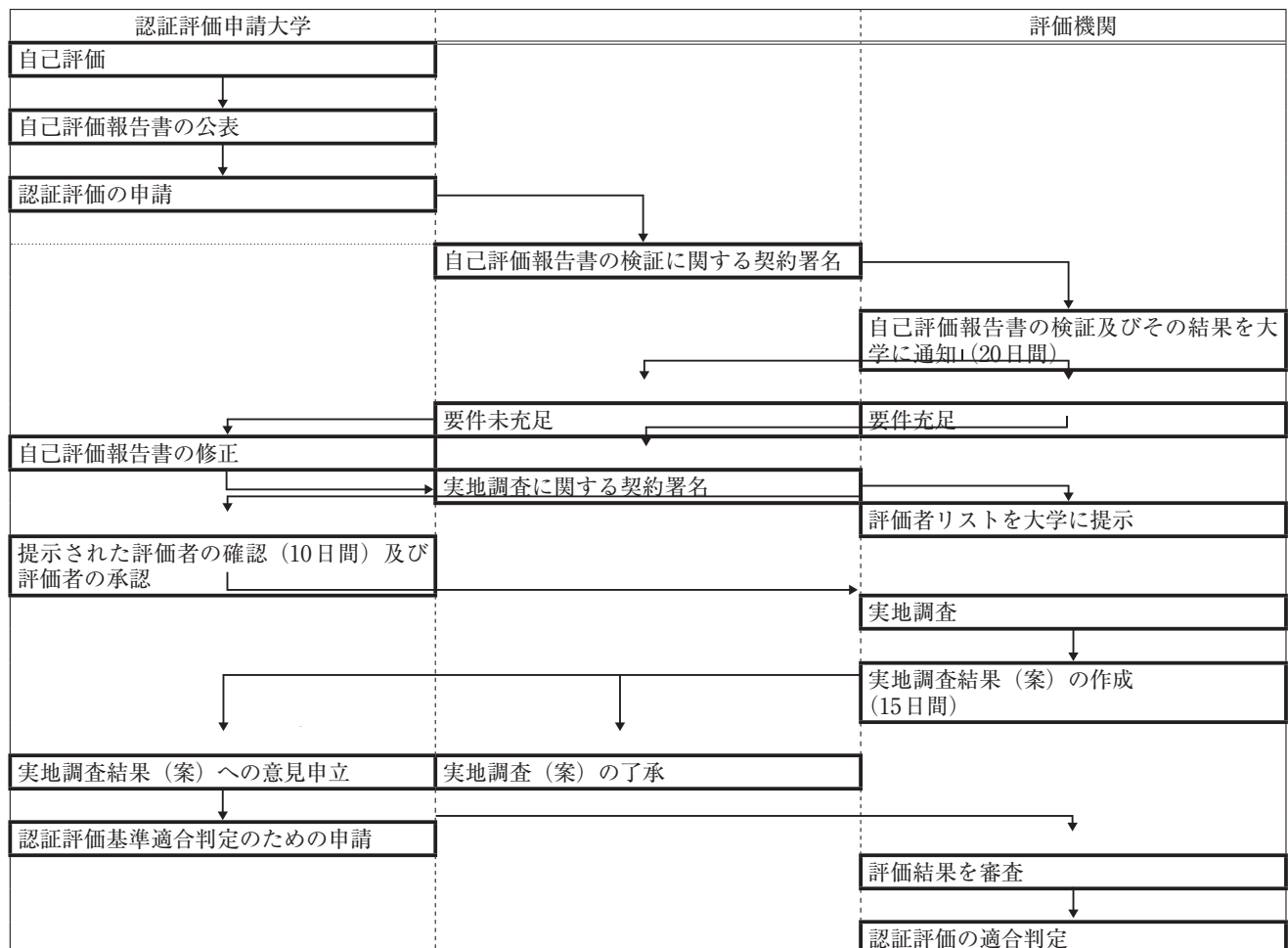
認証評価の評価者に選任されるためには、一定の資格要件を満たすとともに、評価者研修を受けなければならない。資格要件としては、①道徳的資質を持ち合わせ、健康体であること、②修士以上の学位を取得していること、③大学に教員若しくはアドミニスレーターとして、

10年以上勤めていること、④情報スキル及び英語力が一定水準に達していること（例えば、英語についてはCEFR B1以上）等を定めている。

また、評価者研修については、約1ヶ月の研修プログラムの受講が求められ、その受講で6単位を取得しなければならない。このプログラムは3つのモジュールで構成され、モジュールA「高等教育質保証及び認証評価が求められる背景」（2単位）では2つのテーマに基づくコースワークを、モジュールB「高等教育と職業訓練に関する認証評価の実際」（3単位）では3つのテーマに基づくグループワークを、モジュールC「評価者の実践業務」（1単位）では認証評価報告書の作成方法をテーマとした2つのコースワークを、それぞれ行うこととなっている。

この研修プログラムでは、「知識」の部分として、①ベトナム及び周辺国の質保証及び認証評価について、②ベトナム認証評価における評価基準と評価手続について、③ベトナムにおける質保証及び認証評価に関する規

表2 機関別認証評価プロセス フロー図



※ VNU-CEA 提供資料（「STEP IN HIGHER EDUCATION INSTITUTION ACCREDITATION PROCESS」(パワーポイント 資料)）を基に作成

則について、「技能」の部分として、①自己評価報告書及び関連書類の分析・要約・評価の方法、②関係者へのインタビュー方法、データの観察・収集、データ管理、③評価活動におけるチームワークとリーダーシップ、組織化、運営方法、協力、④評価方法、ベンチマークの活用法、報告書の作成方法、「態度」の部分として、①評価者倫理、評価者としての責任及びあるべき態度、の修得を目指している。

こうした研修プログラムを受講すれば、認証評価機関から修了証が発行される。この修了証の取得により、評価者を5年間務めることができる。なお、プログラム別認証評価の評価者に選任されるためには、教育訓練省の評価者の検定試験に合格してライセンスを取得しなければならない。

4.5 ベトナムの認証評価の特質・課題

ベトナムでは、機関別認証評価とプログラム別認証評価の制度が導入されて、2つの評価システムに設定された基準は、明確に構造化されている。特に、内部質保証に関する基準が詳細に規定されており、「成果」に関しても、「教育」「研究」「サービス」「財務と市場」に分けて、内容的にも過不足なく基準・項目が設定されている。また、評価手続も明確に定められている。さらに、評価者の育成に力を注いでいるのも特徴として挙げることができる。具体的には、評価者に求められ要件を明確にし、約1ヶ月という長期間の評価者研修プログラムを策定しこれを運用している。この研修プログラムを通じて、あらかじめ設定した知識・技能・態度の修得を目指している。

認証評価制度導入後、まだ間もないこともあって、機関別認証評価についてベトナム全体の約6割、プログラム別認証評価についてはベトナム全体の約3%しか受審していないという状況である。今後、認証評価システムをより充実発展させていくことが求められるが、いくつかの課題も抱えている。すなわち、質保証に関する政府からの方針やガイダンスが不足していること、質保証の専門家も不足していること、大学関係者の間で質保証について間違った認識を持っている者が少なくないこと、質保証活動にかかる財源が不足していること、限られた人材の中で認証評価にかかる業務が幅広く展開が求められており、負担が大きいこと、等の課題が表出しているという。

また、現在、5つの評価機関が設置され、それぞれ競合関係にあるとされているが、現状では評価基準及び評価手続等が政府により決められており、そうした状況下

で各評価機関が認証評価においてそれぞれ特長を出していくのも難しいとも言われている。

今回訪問調査を行った、VNU-HCM CEAは、質保証ネットワーク (INQAAHE⁽⁵⁾, APQN⁽⁶⁾, AUN-QA⁽⁷⁾, APHERP⁽⁸⁾) に加入し、海外質保証機関とも積極的に交流を図っている。また、質保証に関するワークショップを頻繁に開催するなどして、ベトナムにおける高等教育の質の文化の醸成に尽力している。

5. フルブライト大学ベトナム公共政策大学院 (The Fulbright School of Public Policy and Management, Fulbright University Vietnam) 訪問調査報告

5.1 フルブライト大学ベトナム公共政策大学院 (The Fulbright School of Public Policy and Management, Fulbright University Vietnam) について

フルブライト大学ベトナム公共政策大学院 (The Fulbright School of Public Policy and Management, Fulbright University Vietnam) は、ホーチミン経済大学と米国ハーバード大学ケネディスクールとの協力関係のもとに1995年に設立された。同大学院はベトナムで唯一米国国務省教育文化交流部の基金を受領している教育機関であり、また、ベトナムで最初のNASPAA加盟機関でもある。同大学院は、教育、研究、政策対話の3つを主要課題として設定し、自律性、能力主義、説明責任、高基準を卓越性の要件とする統治原則に従って運営されてきている。オープンコースウェアを活用し、ベトナムのみならず世界中で学べる環境を整えている。

公共政策教育プログラムは政策分析とリーダーシップ・管理運営の2つの重点領域からなり、政策分析コースには100%の、リーダーシップ・管理運営コースには50%の奨学金が支給される。修了率は常に90%、就職率は99%で、就職先としては、国家公務員14%、地方公務員28%、国営企業23%、民間企業20%などであり、進学も14%ある⁽⁹⁾。

5.2 フルブライト大学ベトナム公共政策大学院における質保証について

設立されて最初の10年間は、ハーバード大学ケネディスクールとの連携で、ベトナム市場経済の世界へのアプローチをサポートし、公務員に市場経済についての教育を行うことを目標としていた。続く10年間では、国として効果的な管理システム構築が必要とされ、それに伴い、政策分析を理論的に行うことが求められたため、経

済研究から政策研究へシフトし、ベトナム初の公共政策大学院となった。2016年に米国オバマ大統領がハーバード大学ケネディスクールとの連携を解除するまでは、ハーバード大学の基準で運営されていた。連携解除後、独自の基準が必要となったため、NASPAA基準を採用しNASPAA加盟機関として認定された。

教学マネジメントとしては、ベトナムの文化政治を基礎としてグローバルな価値の理解に向けたカリキュラムを構築している。フルブライト大学のマークは木の形をしているが、その意味するところは、根はベトナムの文化政策であり、葉はグローバルの価値観である。これを教育哲学として教育実践を行っている。

NASPAAは学生の達成度について証明することを求めている。フルブライト大学公共政策教育プログラムとして、公共政策の内容、法律、管理、経済の知識、反論（ディベート）、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力、交渉能力などの態度・技能の達成度を測定しており、NASPAA基準の全てをカバーしている。教育プログラムをどう構築するか、同認定を受けるかはこれら8つの能力に関係している。これらNASPAAが定めている能力は、これまでのベトナムの文化政治の文脈には無い、リーダーシップ、マネジメント、経済ファンダ、交渉能力などもあるが、NASPAAが求めているグローバルコンピテンシーとベトナム固有の価値（儒教に基づくものなど）を組み合わせたものとなっている。例えば、公共政策について韓国籍の教授がアメリカ式で教えているが、ベトナムでの儒教思想を踏まえて東アジア諸国での方法も教えているし、リーダーシップ教育、クライシスマネジメントなどもベトナムでのケーススタディとして学ぶ形となっている。設立当初からハーバード大学の基準で進めていたので、NASPAA基準を受け入れるのはそれほど難しくはなかった。

内部質保証に関しては、専門の部署はなく、教育育成室が担当しており、ベトナムの教育訓練省が決めた基準に準じてカリキュラム企画などを進めている。また、NASPAA基準も満たしている。公共政策教育プログラムと大学全体の内部質保証は本質的には一体となって機能している。新しいのでアクレディテーションはまだ受けていないが、教育訓練省の基準は満たしている。アクレディテーションとしては、GDETAが設定したアクレディテーション基準に基づく評価を受ける予定である。NASPAAのアクレディテーションを受けることについては、大変な部分もあれば、それほどでないものもあった。一番大変だったのは、エビデンスを示すことであっ

た。そのため、大学全体として意識してエビデンスを集めた。一方で、NASPAA基準を満たすことを考えればいいので、その点は楽だった。NASPAAアクレディテーションにより卒業生がグローバルで活躍できることを保証できる形となった。NASPAAアクレディテーションは教育改善につながっている。特に、教員の女性比率向上、学生の出身地の多様性、教育プログラム実施にあたって性別を問わない運用、国際協力関係の拡大など多様性の点について大きな影響があった。NASPAAアクレディテーション（7基準）とGDETA認定基準（25基準）は学生の学びの質、教員の質など重複する部分が多いため、今後の認証評価でも今回の経験が役に立つと考えている。NASPAAアクレディテーション時には、1名アメリカ、1名韓国（アジア地域枠）、1名ベトナム（対象国）在住の3名が訪問調査を行い、改善につながる有益な指摘を受けた。

学生の学習成果の測定については、試験、課題（レポート、宿題）、学生のプレゼンテーション、プロジェクト、シミュレーション（課題解決についての議論など、4ヶ月かける）などがある。ルーブリックも活用している。課題の評価方法については、専任教員の活動に加えて、海外大学卒業の教員が海外大学と連携して実施している。2年に一度、卒業生に対する調査（学んだことを活かしているかなど）を行っており、80%以上の回答率となっている。同じく2年に一度、雇用主への調査も行っており、こちらは60%以上の回答率となっている。これらの結果も教育成果のエビデンスとして活用している。アクレディテーションで求められるエビデンスは、電子データおよび紙媒体で蓄積している。測定した学習成果、教育成果のエビデンスは、教育プログラム改善に活用しているだけでなく、NASPAAアクレディテーションのフォローアップにもつなげている。

フルブライト大学ベトナム公共政策大学院では、VQFも意識して質保証を考えており、公共政策教育プログラムは修士課程に当たるため、VQFで求められるものには対応している。

ベトナムの多くの大学は、ASEAN大学連合（ASEAN University Network（AUN））の基準を採用しており、フルブライト大学ベトナム公共政策大学院がNASPAAアクレディテーションを受けたのもASEANの質保証の流れに沿っている。公共政策教育プログラムには、現在、タイからの留学生が在籍し、カンボジア、ラオス、ミャンマーでも学生募集も行っている。これらの地域は、言語的に近いため教育実施に当たってそれほど問題はな

い。NASPAA アクレディテーション認定以降、メディアを通じての宣伝効果があり、学生募集の点で志願者も増えているなど、地域社会にアピールできている。

5.3 まとめ

以上、フルブライト大学ベトナム公共政策大学院における教育質保証、外部評価としてのNASPAA アクレディテーション受審、VQFとの関わりについて述べてきた。同大学院が、もともとが米国基準での質保証の仕組みを持つ機関であったとは言え、現在のASEANおよびグローバルな仕組み、考え方をうまく取り入れ、国家資格枠組みとの整合性にも配慮した質保証活動を行っていることが確認出来たことは、本実地調査として非常に有意義であったと考えられる。公共政策というと日本では国内事情が優先され、海外の事情やグローバルな活動を行っている評価機関にはあまり関心が向かない傾向があるが、今回の訪問では、グローバルなレベルで求められる教育内容と国内事情に即したケーススタディを組み合わせることで国内外の事情を取り入れた公共政策教育が実践できていることがわかった。グローバルな視点に基づき海外の質保証の仕組みを取り入れた公共政策教育プログラム実践は同分野に限らず国内事情に引きずられている分野が国際的質保証に乗り出す際の非常に有効な先行事例となるものと考えられる。

6. 意義 — むすびにかえて —

ASEANの重要な構成国であるベトナムは、社会的および文化的にも我が国との結び付きも強く、経済的に著しい成長を遂げている。近年、経済指標の伸びに比例し高等教育の規模も著しく拡大している。さらに、ASEAN地域の資格参照枠組み（AQR）を踏まえ国家資格枠組み（VQF）を制定している。本稿は、VQFについて簡単に紹介するとともに、同国の高等教育関係機関であるベトナム国家大学ホーチミン校高等教育評価センター（VNU-HCM CEA）およびフルブライト大学ベトナム公共政策大学院を対象に、2019年9月に実施した実地調査の概要を報告し、さらにその現状と発展の方向性を検討することが目的である。

VNU-HCM CEAにおける調査では、ベトナムにおける認証評価が明確に構造化されており、機関別認証評価とプログラム別認証評価の制度が導入されていることを確認した。内部質保証に関する基準は詳細に規定されており、「教育」「研究」「サービス」「財務と市場」に分類

され、適切な評価項目が設定され、その手続も明確に定められていた。しかし、認証評価制度導入がつい最近であったことから、機関別認証評価についてはベトナム全体の約6割程度、さらにはプログラム別認証評価についてはわずか約3%の著しく低い受審率であった。認証評価システムについて、質保証に関する政府からの方針が十分でなく、大学内でも質保証について間違った認識を持つ構成員が少なくないなど、いくつかの課題も抱えていることも聞き取れたが、現在、VNU-HCM CEAは、質保証ネットワークや海外質保証機関と積極的に交流することで質保証の向上を図っており、今後の活動は大きく期待される場所である。

次に、フルブライト大学ベトナム公共政策大学院では、ASEANの質保証の流れに従ってNASPAAの認証評価を受審していることを確認できた。同大学院では、VQFも意識して質保証の仕組みを構築していた。また、従来は米国基準による質保証の仕組みであったが、現在ではそれに加えてASEANおよびよりグローバルな仕組みや考えを取り入れ、VQFとの整合性にも配慮した質保証活動を行っていることも確認できた。公共政策に関する教育プログラムには、既にタイからの留学生が在籍し、カンボジアなど近隣諸国での学生募集も行っており、NASPAAによる認証評価認定以降、ASEAN地域に積極的にアピールできているようである。

ベトナムの高等教育は、教育の根幹において社会主義思想の周知徹底の理念が貫かれており、社会主義国家としての特質もうかがい知れた。他方、ASEANの重要な一員として、ASEANに所属する他の国々の学位との等価性を図り、学生・研究者や高度職業人材を育成し、それら人材の国境を越えて円滑な移動を促進する高等教育質保証システムの充実・醸成を目指していることも今回の調査で強く認識できた。このように、知的人材の育成を目指すASEAN諸国は、地域内での学生移動の円滑化に対応するために、高等教育における質保証の効果を国境を越えて地域全体で共有化する仕組みの構築が進められている。その意味では、大学評価システム改革において、ASEANは我が国の取り組みより進んでいるともいえる。今後、我が国が大学教育の国際化を進めるためにもASEANのグローバルな視点を取り入れた高等教育質保証システムの取り組みを学び、発展させることが今後より必要になっていくものと思われる。

受付 2019.11.28 / 受理 2020.1.10

注

- (1) <https://asean.org/asean-economic-community/sectoral-bodies-under-the-purview-of-aem/services/asean-qualifications-reference-framework/> (2019年10月9日 アクセス)
- (2) BRIEFING ON VIETNAM:Quality Assurance in Higher Education (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構作成資料)
- (3) VNU-CEA提供資料 (「CASE STUDY VIETNAM HIGHER EDUCATION QUALITY ASSURANCE」(パワーポイント資料)) による。
- (4) VNU-HCM CEA提供資料 (「SEMINAR : Quality Assurance and Accreditation in VIET NAM and JAPAN」(パワーポイント資料))
- (5) the International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education (INQAAHE) <https://www.inqaahe.org/> (2019年10月9日アクセス)
- (6) the Asia-Pacific Quality Network (APQN) <https://www.apqn.org/> (2019年10月9日アクセス)
- (7) the ASEAN University Network-Quality Assurance (AUN-QA) <http://www.aun-qa.org> (2019年10月9日アクセス)
- (8) The Asia Pacific Higher Education Research Partnership (APHERP) <https://apherp.org/> (2019年10月9日アクセス)
- (9) <https://www.fsppm.fuv.edu.vn/en/about/overview/> (2019年10月9日アクセス)

参考文献

- ・ 近田政博訳 (2014) , 「翻訳 ベトナム高等教育法」, 名古屋大学高等教育研究センター編 『名古屋大学高等教育研究』第14号
- ・ 「ASSESSMENT STANDARD AT INSTITUTIONAL LEVEL」(VNU-HCM CEA提供資料)
- ・ Nguyen Van Trao (2018) , 「Keynote Speech II “Quality assurance for higher education: Local voice from Vietnam”」 QAPHE国際シンポジウム (平成30年1月17日) 資料
<https://qaphe.com/wp-content/uploads/20180117trao.pdf>
- ・ 「ベトナム高等教育の質保証 プリーフィング資料」(NIAD-QE評価事業部国際課) ,2017年1月
[http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/info/vietnam/BriefingonVietnamQAinHE \(JP\) .pdf](http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/info/vietnam/BriefingonVietnamQAinHE (JP) .pdf)